

第4回塩竈市立病院事業調査 審議会 会議概要

平成28年1月14日

塩竈市立病院

第4回 塩竈市立病院事業調査審議会 会議概要

日 時： 平成28年1月14日(木)18:25～19:25

場 所： 塩竈市立病院 3階 会議室

出席委員： 本郷会長、渡辺委員、中嶋委員、吉田委員、南家委員、鈴木委員、伊藤委員

欠席委員： 鳥越副会長、内形委員

事務局： 経営改革室 鈴木室長、高橋室長補佐、扇谷室長補佐、大場主事、其川主事

司 会： 経営改革室 扇谷室長補佐

<進行>

1. 開会

2. 議題

(1) 収支計画案について

(2) 中間答申案について

3. その他

4. 閉会

1. はじめに

本郷会長

今回で中間答申案を作成するところまでもっていききたい。市立病院としても今後の医療機能や経営改善に関する対応策を考えていただいている。地域医療構想との整合性をいっしょにしながら進めるのも重要である。宮城県の仙台医療圏における地域医療構想の策定の関連では、来週塩竈黒川地区の意見交換会の場がある。意見交換会の内容は、答申案に多少影響があるかもしれないが、まずは審議会で中間答申としてまとめたい。国勢調査では塩竈は震災後人口が△4%と報告されたが、石巻などは△10%の状況なので、それに比べれば、小幅な減少に留まっている。病院の役割は現在と同じように続いていくだろうという見通しである。今回は中間答申案についての最終議論になるので、今後の答申案の作成に向けて確認を行っていききたい。

2. 議論

(1) 収支計画案について

レジメに基づき事務局より説明

本郷会長

計画案として、経常黒字を見込んでいる。入院は患者数減少だが単価が上がり収益増。外来についても患者数減だが単価が上がり収益増を見込み経常黒字となっている。

鈴木委員

新プランにおける診療単価が高めに設定されている。実績を踏まえた数字だとは思いますが、

入院及び外来の収益増を見込んでいる要因を教えてください。また費用については減価償却費が大分かかっているが内容について教えてください。

事務局

平成 27 年 6 月より地域包括ケア病棟を開設した事により、診療単価が増加した。地域包括ケア病棟開設後の実績に基づいて、目標を設定させていただいた。療養病棟についても現在の実績に基づき診療単価の設定を行った。また、減価償却費は、近年行った電気設備の更新事業、医事システムの減価償却費が発生している。また、平成 28 年度において大規模な施設改修を予定している。その減価償却費を見込んだ計画となっている。

渡辺委員

計画としては良いと思う。病院職員一丸となって達成していただきたい。

中嶋委員

病床利用率だが、いい時もあり、下がる時もあると思われる。病床利用率を維持するには、地域との連携が必要である。単価についても、直近の実績という裏づけがあるとはいえ、高い目標である。しっかり実績に変えていただきたい。

吉田委員

達成が難しいところは目標を見直し、地域包括ケア病棟の実績を踏まえ全体の単価を上げて収支を整えたいという計画かと思う。ぜひ職員一丸となって達成していただきたい。

南家委員

過去の実績を踏まえて、今後 5 年間における実現可能なプランになっているようだが、本計画については消費税増税の影響については加味しているのか。

事務局

消費税は 10%に増税される事を見込んで計画に盛り込んでいる。

南家委員

それであれば十分な計画であると思われる。

本郷委員

消費税の増税はかなり経営に影響してくる。それを加味した上で黒字達成の見通しを立てている。

(2) 中間答申案について

レジメに基づき事務局より要点を説明

本郷会長

今回の中間答申案は、地域医療構想が策定されれば、再度整合性の検証が必要となる。あくまで中間として方針を確認したい。現在の病院の概要、これまでの不良債務の解消状況、そしてこれからの地域包括ケアシステムにおける役割などの説明があった。地域医療構想の仙台医療圏における説明会が 3 月に行われる。市立病院の今後の役割については地域医療構想の状況によって影響があるかもしれないが、現段階の情報での内容が盛り込ま

れている。また実績に基づき、患者数、診療単価、収益の目標を設定し、収支計画を作成し経営の効率化を図る。再編・ネットワーク化と経営形態の見直しについては、現在の状況を維持するという方針を示している。

渡辺委員

医師、看護師、事務含め一丸となって進めていくということで期待している。外来の診療単価は 10,800 円を見ているようだが妥当なのか。

伊藤委員

全ての科を平均した単価である。外科などは高いので、科ごとの単価としては変わってくる。

中嶋委員

これまでの議論が反映された内容になってよいと思う。P7のところで今後の果たすべき役割に「救急の継続」ということがある。実は、先日 1 歳半の孫が夜中に体調を崩し、受診できるか市立病院に相談したら、快く受け入れてくれた。正直、受け入れていただけるか半信半疑であったが、夜中に緊急受診の受入をしていただき大変ありがたかった。一市民として頼りになる病院であると感じた。どうしても無理な症例は受け入れられないというのは、市民としても理解できると思うので、ぜひ、夜間救急の継続を願う。

吉田委員

全体の方向としては良いと思うが、P11 経営形態の見直しの結びだが、「今後も病院経営に取り組みたい」という表現は、どこをポイントとするのか教えてもらいたい。

事務局

公設公営で進めていきたいという意味合いの文面である。

本郷会長

ならば、その点を明確に文字に落とす必要があるのではないか。

吉田委員

ニュアンスは分かるが、答申案ということになると、審議会としての意見が反映されているのか踏み込むところがあっても良いのではないかと思う。はっきりとは書けなくても、留保するようなどころがあっても良いのではないかと思う。

鈴木委員

前回審議会までで、市民アンケートを踏まえた議論を行ってきたが、議論の内容を良く取り込み、全体的にまとまっていると思う。

南家委員

答申案の中に離島診療についての表現があってもいいのではないか。全市民には離島の市民も含まれる。在宅医療を行っている実績もあるので、P8の「在宅医療の充実」のところ離島への在宅医療の表現を入れてもいいのではないか。

本郷会長

公立病院として離島診療は大事な要素であると考え。在宅医療の箇所を追記する方針

としたい。

～全員一致で了承～

本郷会長

今までの意見を基にして修正を行い、塩竈市長への中間答申として整えたいと思う。修正については会長一任でよろしいか。

～異議なしの声～

本郷会長

繰り返しになるが、宮城県の地域医療構想が示された段階でもう一度委員の皆様にご集まってお集まりいただき、地域医療構想との整合性を確認して最終案としてまとめたい。時期が来たらお集まりいただきたい。よろしくお願ひしたい。

伊藤委員

いろいろな意見ありがとうございました。これからの当院の役割、地域医療での役割が示されたと思う。救急医療については今後もしっかり続けていきたい。また、地域包括ケアシステムの要となり取り組んでいきたい。収支均衡を目指して、今後もしっかりと取り組んでいきたい。

3. 市長挨拶

塩竈市長より会長及び委員への審議お礼の挨拶があった。

<今後の予定>

平成 28 年 2 月 8 日 (月)、市長への中間答申予定

平成 28 年夏頃 最終答申に向けた審議会を再度開催

以上